

科目	どのような基準で学業成績の結果を出されましたか。提出された成績評価も踏まえてご記入ください。
F	テスト, 授業態度
F	シラバス通り
F	シラバスに掲載した通り、平常点（出席、授業の参加度）10%、提出課題 30%、試験 60% の3項目の合計点を基準として評価を出した。
F	教科書の課題の理解を助ける書き込み式プリントを作成したり、2人である会話を練習しそれを口頭発表してもらったりし、それらを点数化し、学期末のペーパー試験の結果と合わせて評価しました。プリントにおいて、授業でやった所は書いてないと減点と言ったので、ほとんどの学生達はきちんと仕上がっていましたが、中にはただ埋めてとりあえず提出しただけというのも見られました。以前は授業でとばした箇所もやってあったことがありますが、自ら取り組む姿勢はほとんど見られませんでした。ペアワークでは、できるだけ正確な発音を身に付けてもらいたいと思い、CD付の教科書を選びましたが、ほとんどの学生達は聞くことがなかったようです。定期試験では基礎的なことを問う箇所の出来が最も悪かった。評価に関わることで、要求した事はきちんとやってくれましたが、そうでない事はやってくれませんでしたという印象を受けました。
F	プレゼンテーション::20%、期末筆記試験::80%
F	60点以上を合格とし、毎回の英文作成のできをみながらギリギリに当たる学生への対処の一環とした。同時に、必要技術を確実に身につけているかをチェックした。
F	課題レポート+期末筆記試験（TOEIC補講試験に不合格のために単位の出せない学生も数名いた。）
F	2回の筆記試験の合計点と出席状況。
F	1. 授業内での英語の量(積極的参加)と質(英語パフォーマンス)(出席含む:関心/意欲:20%)、2. ロール・プレイ(技能/表現:60%)、3. 小テスト(知識/理解:20%)、以上3点により総合的に評価した。
F	英語が得意、不得意に関係なく、どれだけ真面目に授業に参加し学習に取り組んだかを評価した。 内訳は定期試験(40%)。15回の授業で学習したことの総まとめテスト。しっかり授業を聞いているか、教科書の内容をしっかり理解しているか、リスニング練習をしているかなどを確認する。 小テスト(30%)。教科書の予習をしているかどうかを確認する。出欠席の確認にも使用。 提出物+平常点(20%)。英文作成2回。内容だけでなく、提出期限が守られているか、規定通りに作成されているかも評価した。平常点は授業の参加状況、取り組む姿勢などを総合的に評価。 パワーポイントを使っての英語でのプレゼンテーション(10%)。プレゼンの内容、話し方、パワーポイントの構成などを総合的に評価。
F	定期試験70%、授業参加度30%。出席状況、授業内での応答、ペアワークでのとりくみなどを授業参加度に含めた。
F	定期試験の評点による。初級語学の試験では主観的判断の入る余地はないので、点数は明快である。
F	私はどの授業でもルーブリックを作成し、評価規準についてどのようにしたら基準ABCがつき点数化されるのかオリエンテーション時に配布し説明して授業を行っている。試験となる最終発表以外に毎時間の発表や、e-learningの課題、小テスト、提出された会話シートの内容など、多方面から成績結果がでるよう示した。

F	各授業の最後に出した課題の点数と定期試験の点数で評価した。
F	授業では、ポイント制度を実施しており、毎回の授業で学生は課題や発表、教科書の解答等に応じてポイントを獲得し、そういったクラスポイントと最終プレゼンテーションと期末試験を総合し、成績評価を付けた。
F	小テストと、テスト、会話テストと授業態度のほか、授業ごとに感想文を提出してもらい、それも評価の対象にしている。
F	出席率、授業内での小テスト、発音に重点をおいた英語の発話能力、学期末試験の結果を総合的に判断して評価した。
F	外国語科目であるが、1クラスに55名もの受講生がいるため、現実的に平常点を加味することは難しかったので、定期試験の結果で判断した。